

## 防災意識向上につながるために シェイクアウト訓練を実施しましょう

北海道では「災害時には自らの身の安全は自ら守る」という防災の基本を理解し、防災意識の向上につながることを目的に、毎年一般参加型の地震から身を守る防災訓練「北海道シェイクアウト」を実施しています。

本年は、胆振東部地震を教訓として伝える観点から、胆振東部地震の発生日である9月6日（金）午前10時に実施を予定していますので、ぜひ訓練にご参加ください。訓練の概要は次のとおりです。

### ○日時

9月6日（金）午前10時から

### ○場所

勤務先や教育施設など任意の場所

### ○訓練内容

訓練は、防災行政無線の「チャイム」が流れた後「只今より、地震から身を守るシェイクアウト訓練を開始します。低い姿勢をとり、安全を確保してください」と放送が流れますので、終了のアナウンスが流れるまで1分間程度各自その場で実施してください。

開始合図に基づき、地震の揺れから身を守る安全行動「まず低く」「頭を守り」「動かない」を一斉に実施（1分間程度）。その後、鹿部町津波ハザードマップにより避難場所や避難経路、危険個所等の情報の確認を行きましょう。



※詳しくは北海道のホームページをご確認ください



▼お問い合わせは、役場総務・防災課防災・デジタル推進室（01372-7-2111）へ。

## ○ 駒ヶ岳火山観測情報 ○

令和6年7月に観測された駒ヶ岳の状況についてお知らせします。

- 全般 火山活動は、概ね静穏に経過しています。長期的には、噴気活動や地殻変動に活発化の傾向がわずかに認められており、今後も活動の推移には注意が必要です。噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）に変更はありません。
- 噴煙活動 山頂に設置した監視カメラでは、昭和4年火口および明治火口でごく弱い噴気を観測しました。
- 地震活動 今期間、火山性地震は少なく、地震活動は低調な状態です。火山性微動は、観測されていません。
- 地殻変動 GNSS連続観測では、2022年頃から山頂付近の膨張を示すと考えられるわずかな変化が一部で認められていましたが、2024年1月頃から概ね停滞しています。長期的には、山頂火口原を挟む基線では断続的にわずかな伸長が認められます。  
(GNSS観測：GPS含む衛星測位システムの総称)

- ①詳細は札幌管区気象台ホームページでも閲覧することができます。<https://www.ima-net.go.jp/sapporo/>
- ②気象庁ホームページに駒ヶ岳の火山観測データが掲載されています。火山活動状況などの把握にご利用ください。<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/opendata/open-data.php?id=113>